

(4) 「かしはらナビプラザ」(英語観光ガイド体験プログラム)の取組

〈活動開始の経緯〉

昨年10月に地元橿原市観光課より、橿原市を訪れるインバウンドの観光客により身近に感じることができる観光スポットを、生徒と一緒に体験しながら紹介するというお話をいただいた。本校 ESS 部の英語での発信活動をより充実させる良い機会としてお引き受けすることとなり、橿原市観光課および株式会社 Huber. の方々とタイアップをしながらの取組を開始した。ESS 部の活動日に、Huber. のスタッフの方に本校に来ていただき、クラブ顧問、本校 ALT 教員とともに、まずこの活動の趣旨・目的を生徒に詳細に説明して頂いた。生徒独自の視点で橿原市の観光スポットを選び、体験を通じてその良さをインバウンド観光客に紹介していく、というこの活動の趣旨に対して、部員が大いに関心を持ってくれたように思う。

〈活動の経緯〉

第1回、2回目では、アイスブレイキングの活動を丁寧に行い、それを通して英語を使ってスタッフの方々とスムーズなやりとりができるようになった。第3回目の訪問の際には、部員ひとりずつにワークシートを配っていただき、橿原市内の学校の所在地である八木地区の中で、生徒自身の視点による体験観光スポット数カ所を選び、それらについての英語のアピール文をまとめる課題をいただいた。そして第4回目の訪問の際には、部員ひとりひとりがワークシートに書いた地図、挿絵、写真などを示しながら英語でプレゼンテーションを行った。部員は自由な発想で観光スポットを選び、他にはない和菓子・洋菓子を楽しむことができるコーヒーショップを選んでその店の良さを紹介するものがあり、また橿原神宮を独自の視点で紹介するものもあり、生徒ならではのワークシートを作っていた。第5回目の活動では、生徒個人が作ったワークシートをまとめて1枚の『体験観光マップ』を作りあげた。

〈今後の活動計画〉

関西地域に発令されている緊急事態宣言により現在活動は一時中断しているが、次回活動の際は作成した観光マップをもとに生徒が一度実際に歩いてみて、所要時間や紹介する内容についてより精選する予定である。さらに部員が英語を通して地元の良さをアピールすることで、英語による発信活動により自信が持てることにつなげていきたい。